

ネイチャーセンターだより



春国岱・風蓮湖 生きもの図鑑

ミソサザイ

英名：Wren 学名：Troglodytes troglodytes



一年中、根室で暮らしている鳥（留鳥）で、オスは春になると、大きな通る声でさえずりま。スズメより少し小さく、体全体がチョコレート色をしています。ヤブの中で暮らしていることが多く、姿を見つけるのは難しいですが、さえずるときは、木の枝や岩の上に止まるので、比較的見つけやすくなります。

観察には、自然学習林や春国岱のアカエゾマツコースがオススメです。



ネイチャーセンター日記



今年の冬は暖かく、ついに風蓮湖は完全に凍ることなく春を迎えそうです。毎年3月中旬～下旬に戻ってくるタン

チョウやオオハクチョウもいつもより早い3月上旬ごろから風蓮湖にやってきています。先日は自然学習林から「ツツピー、ツツピー」という声が聞こえてきました。3月上旬なのに、もうシジュウカラがさえずっています。暖かいので鳥たちも、もう春が来たと思っ

～春国岱クイズ～

今月の表紙になっているミソサザイ。

おもに何を食べている？

1. 昆虫やクモ
2. 木の实
3. 花の蜜



ヒント

いつも、地面をうるちよるしながら食べ物を探しているよ。

ネイチャーセンターからのお知らせ

ねむろバードランドフェスティバル を開催しました

2月7日～8日に「ねむろバードランドフェスティバル2009」が開催されました。このイベントは野鳥の聖地ともいわれている根室の魅力为全国・海外の方に知っていただくために、2008年から開催しています。

野鳥観察会や、講演会、根室や北方四島に暮らす生きものを紹介する展示コーナーなど、さまざまなイベントが開催されました。ネイチャーセンターでは、ワシを観察する湖上探鳥会、山本純郎氏によるシマフクロウの講演会、厚床小学校と海星小中学校による環境保全ポスターと標語展がおこなわれました。

今年は道外からの参加者が多く、冬の根室の魅力を感じていただくことができました。

体験部門



湖上探鳥会



講演部門



シマフクロウの講演会



ガンカモティーチャーズガイド 講習会開催！

3月10日、春国岱ネイチャーセンターで、ガンカモティーチャーズガイドを使ってカモ類の見分け方や生態などを学ぶ体験プログラムの指導者養成講座を開催しました。

今回は、道東自然系施設ネットワークのスタッフが参加しての講座で、プログラムの構成や実施方法、説明の仕方などを実際にプログラムを展開しながら学びました。



ボランティアの活動



■オオワシ・オジロワシ個体数調査の結果■

1月末～2月末にかけて、越冬のために風蓮湖・温根沼にやって来るオオワシとオジロワシの渡来数調査をおこないました。

今年の最大渡来数は、オオワシ・オジロワシあわせて1104羽でした。今年は、風蓮湖の結氷が遅く、出だしは数が少なかったですが、2月の中旬には、ほぼ例年通りの飛来数となりました。

風蓮湖・春国岱
2009年冬 オオワシ・オジロワシ確認個体数
2月11日現在

	風蓮湖全体	春国岱、スワン44川口確認個体	温根沼周辺
オオワシ	799	691	86
オジロワシ	195	169	24
合計	994	860	110

今年、3回目の調査です。風蓮湖の氷下待渡鳥の数は少ないですが、ワシ類の確認個体数が増えてきました。ワシの渡りのピークは、例年2月の中旬です。
例年冬・風蓮湖合計 1104羽

フィールドボランティア募集中！！

風蓮湖・春国岱で活動しませんか？

春国岱では、野鳥や自然の調査や観察会などを行うボランティアスタッフを募集しています。いつからでも、経験がなくても始められますので、気軽にお問合せください。



対象：高校生以上

保険料：300円（年間）が必要となります。

【お問合せ】電話 0153-25-3047



自然観察路周辺の自然情報 * 4月 *



冬の間たくさん見られた、シロカモメとワシカモメが少なくなり、代わりにウミネコの数が増えています。冬鳥と夏鳥が両方見られる4月は、カモメの仲間を見分けるのに最適です。

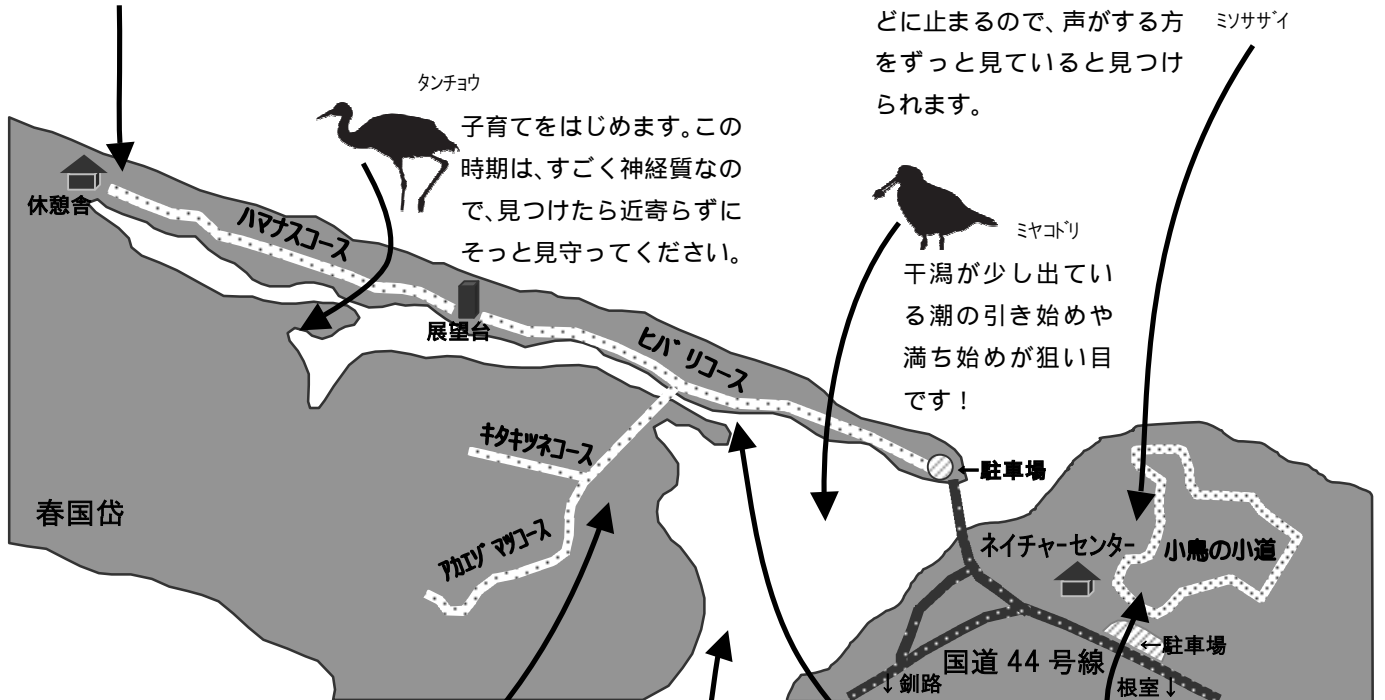


4月中旬になると、南から渡ってきます。オオジュリンは、ヨシの中でさえずるので、少し見つけにくいですが、ノビタキは木のてっぺんに止まって鳴くので、見つけやすいです。どちらも、目印は、真っ黒な頭！！



オオワシの成鳥は北へ渡り、幼鳥の姿が目立つようになっています。オジロワシもほとんどが北へ渡りますが、少数は北海道に残り子育てをします。

学習林などの木でにぎやかにさえずります。時々、やぶの中から出てきて、木の枝などに止まるので、声がする方をずっと見ていると見つけられます。



タンチョウ
子育てをはじめます。この時期は、すごく神経質なので、見つけたら近寄らずにそっと見守ってください。

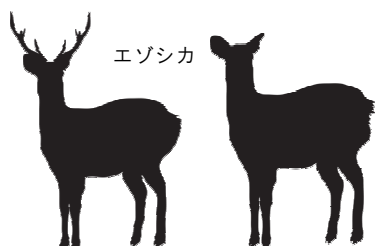
ミヤコドリ
干潟が少し出ている潮の引き始めや満ち始めが狙い目です！

アカゲラやオオアカゲラなどのドラミングの音が聞こえてきます。まれに、クマガラも出てきます。枯れた木に、新しくつuitた跡があれば、近くにいるかも...!



3月に渡ってきたカモやオオハクチョウは、北へ渡っていき、数が少なくなっていきます。10月に戻ってくるまでは、しばらくお別れです。

お花
小鳥の小道に、エゾエンゴサクやザゼンソウが咲き始めます。その後スミシヤヒメイチゲ、ミスバショウなどが咲き始めます。



この時期、角が1本しかないオスジカを見かけます。4月は角の生え変わり時期。冬の間古くなった角が自然に落ち、新しい角がはえてきます。

ビビビビ...とにぎやかにさえずり、お嫁さん探しに奮闘中！有名な『あげハバリ』が見られます。



イベント・展示情報

★春の森で小鳥に会おう！

子育てのために春国岱にやってくる、森や草原にすむノビタキやカラ類、キツツキ類など鳥たちの姿や暮らしを観察します。

日時：5月24日(日) 7:00～9:30
*雨天中止

対象：小学生以上(小学生は保護者同伴)

定員：20名

集合場所：根室市春国岱原生野鳥公園
ネイチャーセンター1階

持ち物：外を歩ける服装、あれば双眼鏡・望遠鏡、図鑑

参加費：保険代100円

申込み：5月17日までに電話にて受付
(先着順)



親子の参加、
大歓迎です！！

★タンチョウイラスト展

根室・釧路管内の小中学校などから応募があったタンチョウのイラスト(ハガキサイズ)を館内に展示します。

日時：6月1日(月)～6月30日(火)
9:00～17:00

対象：どなたでも

場所：根室市春国岱原生野鳥公園
ネイチャーセンター1階

観覧料：無料

申込み：不要

見に来てね！



【お申込み・お問合せ】 電話 0153-25-3047 (春国岱ネイチャーセンター)

団体の方へ～解説プログラムのご案内～

- 事前にお申し込みが必要です。
- 野外での解説は、学校など自然体験を目的とした団体などに限らせていただきます。
→詳細など、お問合せはネイチャーセンターにご連絡ください。(電話 0153-25-3047)



- ① 野外解説・自然学習 (～2時間 / ～20名)
- ② 春国岱の自然(映像) (15分～25分 / ～45名)
- ③ 自然クイズラリー (約1時間 / ～50名)
- ④ タンチョウ、カモ類に関する学習ゲーム (0.5～2時間 / ～20名)
- ⑤ 施設概要説明 (30分～2時間 / ～45名)

～メール配信のお願い～

ネイチャーセンターだよりをメール(PDF形式)で配信しています。経費削減のためご変更いただける方は、下記メールアドレスまで、ご自身のメールアドレスをお知らせ下さい。ご協力をお願いいたします。
連絡先：nemu_nc@marimo.or.jp
※ネイチャーセンターだよりは、ホームページ上でもご覧いただけます。

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター

- 住所■ 〒086-0074 北海道根室市東梅103番地
- 電話■ 0153-25-3047 ■FAX■ 0153-25-8570
- HP■ http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html
- メール■ nemu_nc@marimo.or.jp
- 4月の開館時間■ 9:00～17:00
- 4月の休館日■ 1・8・15・22日